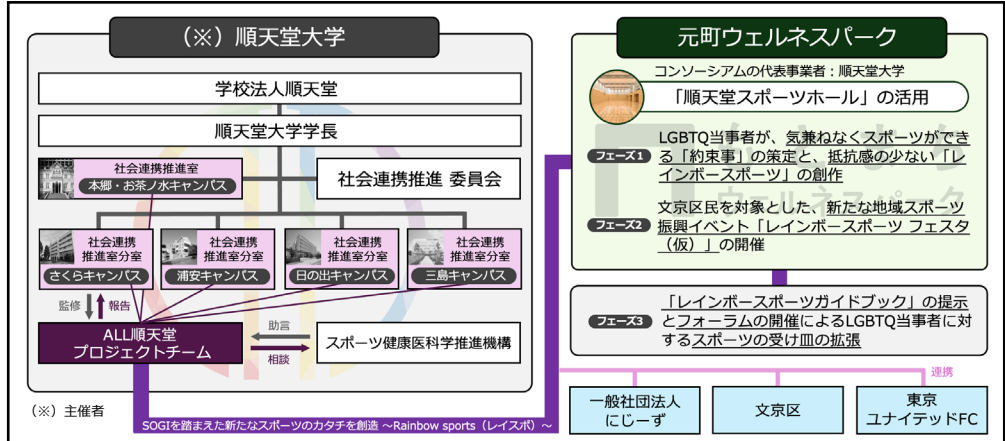


実施計画名	SOGIを踏まえた新たなスポーツのカタチを創造～Rainbow sports（レイスポ）～
事業概要	<div>①LGBTQ当事者が、気兼ねなくスポーツができる「約束事」の策定と、抵抗感の少ない「レインボースポーツ」の創作 ◆アライシップを有する大学生とSOGIへの理解・啓発活動を行う有識者の協働による知財の創出</div> <div>②文京区民を対象とした、新たな地域スポーツ振興イベント「レインボースポーツ フェスタ（仮）」の開催 ◆SOGIへの学びを喚起する多様なスポーツ交流機会の提供と、レインボースポーツが有する効力の伝達</div> <div>③「レインボースポーツガイドブック」の提示とフォーラムの開催によるLGBTQ当事者に対するスポーツの受け皿の拡張 ◆LGBTQ（かもしれない人も含む）当事者への受け入れ方、専門的な指導や支援にあたっての方法を発信</div>

■対象地域が抱える課題

対象地域	東京都文京区（R7年 人口総数：236,428人） ◆推定LGBTQ人口：17,968人（7.6%）
課題	文京区は、東京都他区に先駆けて「 <u>性自認および性的指向に関する対応指針</u> 」を策定し、 <u>多様性社会の推進に取り組んでいる</u> “LGBTQ当事者が安心してスポーツに打ち込めるための新たなスポーツモデルの醸成と展開” ◆中学校での運動部活動の地域展開が本格化する中で、LGBTQユースへのスポーツ活動のアクセスをはかることは喫緊の課題

■事業の実施体制図



■具体的なプログラム・活用する大学スポーツ資源

フェーズ1：「約束事の策定」・「レインボースポーツの創作」
活用する資源：教育・研究 × 人材
プログラム：大学生と有識者のブレインストーミングによる共創
事業実施数：5回（R7 9月～11月を予定）
LGBTQ当事者が抱える葛藤の解決をスポーツモデルに反映
フェーズ2：「レインボースポーツフェスタ（仮）の開催」
活用する資源：施設 × 人材 × ノウハウ
プログラム：レインボースポーツ & カフェセッション
事業実施数：1回（R7 11月を予定）
文京区民（LGBTQ当事者含む）に新たなスポーツイベントを還元
フェーズ3：「ガイドブックの提示」・「フォーラムの開催」
活用する資源：ノウハウ × 教育・研究
プログラム：ケーススタディ & オープンディスカッション
事業実施数：1回（R7 12月を予定）
文京区のスポーツ事業者にLGBTQ当事者を包摂するノウハウを還元

■期待される事業結果・効果

レインボースポーツのパスウェイ（終点ではなく起点）機能の拡充
・レインボースポーツへの関心の向上（認知度目標：17,968人）
・新たなスポーツ挑戦心への喚起（リピート希望率目標：85%）
LGBTQ当事者への地域スポーツの受け皿の拡張と継続の喚起
・ノウハウをスポーツ現場に還元（運用目標：95%）